

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月25日			
平成15年度	事業コード	15220	電話	042-769-8288
担当部課名	生涯学習部	スポーツ	課	管理 係
事務事業名	淵野辺公園アイススケート場管理運営費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第2節	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	3 年度
施策名	第2施策	スポーツ・レクリエーション施設の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

スポーツ振興法、相模原市スポーツ振興計画、市都市公園条例及び同施行規則

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

あり

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
スポーツを通じた市民の健康増進と生涯スポーツの振興を図るため、良好な施設環境を維持することを目的として、施設管理業務を行う。	銀河アリーナ(スケート・プール・トレーニング室・テニスコート)
	対象数 4施設
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
維持管理業務を(財)相模原市都市整備公社に委託する。	
スケート利用者数	12年度 97,982人 13年度 99,261人 14年度(見込み) 105,844人
プール利用者数	12年度 35,139人 13年度 32,032人 14年度(見込み) 30,148人
トレーニング室利用者数	12年度 24,985人 13年度 25,637人 14年度(見込み) 28,257人
テニスコート利用者数	12年度 8,988件 52,816人 13年度 9,200件 53,720人 14年度(見込み) 9,448件 52,460人
収入	41,020千円 7,612千円 5,125千円 11,955千円
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	スケート利用者増加率	当該年度利用者数÷前年度利用者数×100	利用増加率によって評価する	90	101	107	102	102
	テニスコート稼働率	当該年度利用件数÷年間利用可能最大件数×100	年間利用可能最大件数に対する当該年度の稼働率を算定し評価する	78	80	76	85	85

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	項目	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	決算(予算)額	343,278	329,346	327,624	325,561	313,561
	人員・時間数	0.1人・年	0.1人・年	0.1人・年	0.1人・年	0.1人・年
	人件費	842	842	839	839	839
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	344,120	330,188	328,463	326,400	314,400
	特定財源	55,622	54,951	53,823	55,875	55,875
	対象数	210,922	210,650	216,709	226,312	229,662
	対象の単位あたり経費	1.6	1.6	1.5	1.4	1.4

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	当該年度の利用者数が前年度以上であれば目標を達成していると判断する。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 夏季は水泳プールとして、冬季はスケート場として稼働しており、利用者ニーズには応えている。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	スポーツ振興を図る上で、スケート・プールなどそのシーズンに適したスポーツができる施設として必要である。
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない スケート、トレーニング室、テニスについては、費用対効果は妥当と思われるが、水泳プールに関しては年々利用者が減少しており費用対効果は低い。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	広く市民に参加の機会を提供しており妥当と思われる。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: プールでの自主事業の展開による利用者数のアップの余地はある。	手段	管理受託者の再委託業務(日常清掃)を精査する。
		削減額	101 千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
		利用料金制度を導入している横浜市のプールは、利用料金収入が予定収入を上回って経営をしている。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 市民の健康増進とスポーツ振興を図るため、今後も事業を継続していくが、プールでの自主事業等の展開による利用者数のアップなど検討する。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--